

在宅医療・介護連携推進事業：住民啓発（事例）

鳥取市鹿野町支部老人クラブ「高齢者ふれあい演芸会」研修



テーマ： 住み慣れたまちで暮らすために地域包括ケアを知りましょう！

心づもりを話し合いましょう！ ～ACP（アドバンス・ケア・プランニング）のすすめ～

日時： 平成31年3月8日（金） 10：15～11：45

場所： 鹿野町老人福祉センター 参加者： 230名

【内容】 DVD「我が家に帰りたい（第一幕）」を参考に、住み慣れた地域で人生の最期まで暮らせるまちづくり「地域包括ケア」がすすめられており、地域包括ケアには、自助・互助がとても大切とお話させていただきました。

DVD（第二幕）、パンフレット「さいごまで自分らしく豊かな人生のためのわたしたちの心づもり」を使って、ACPについて説明し、普段から、心づもりを家族や大切な人たちと共有しておくことが大切とお話ししました。また「自分の考えを伝えられなくなった時にどうして欲しいか」を参加者同士で考えて話し合いました。



【講師感想】

200名以上の参加者で、笑い、頷きもあり充実した90分間でした。

話し合いでは、「延命はして欲しくない」、「自然が良い」などの意見が、また終了後には、「終活支援ノート、話し合いは必要。私はしている。みんなもした方がいい。」、「今は本人の意思を大切にする時代、話し合いは必要。」という賛同の意見をいただきました。

さらに、ACPを広げる必要性を感じていただき、サロンで同様の研修をお願いしたいという嬉しい反応もありました。

（講師：東部医師会在宅医療介護連携推進室 秋田和秀・廣山 恵）